

道東の鉄路

国鉄釧路機関区・酒井豊隆の記録

旅客や貨物の輸送を一手に担い、鉄道が「陸の王者」だった昭和30〜40年代。動力近代化の中で消えゆく蒸気機関車。鉄道マンとしてカメラマンとして、蒸気機関車を愛した酒井機関士による、根室本線・釧網本線など道東の国鉄各線（釧路鉄道管理局管内）、また雄別鉄道など「炭鉱鉄道」を記録した作品を展示します。

期間 2020(令和2)年
7月11日(土)~9月27日(日)
9:30~17:00 (除く休館日)

会場 釧路市立博物館 1階マンモスホール (無料)



釧網本線 塘路一茅沼 1966-10



根室本線 釧路一東釧路 1972-6-28



根室本線 根室駅 1970-3-3



釧路機関区 1955-10

《作品集(冊子)を刊行します》9月刊行予定(予価1,200円:通信販売も行います)

《お願い》ご来館・ご参加にあたっては、マスクなどの着用、咳エチケット、周囲の方と十分な間隔を保つなど、新型コロナウイルス感染拡大の防止へご協力ください。館内に消毒液を設置していますので、ご利用ください。展示・行事について、状況により日程変更・中止となる場合があります。

釧路市立博物館

主催：釧路市立博物館 ■ 共催：釧路臨港鉄道の会・釧路市立博物館友の会
■ 協力：小樽市総合博物館

開館時間：午前9時30分~午後5時 休館日：毎週月曜(8月10日・9月21日を除く)・8月11日(火)(祝日振替)
常設展入館料：一般・大学生480円 高校生250円 小・中学生110円
〒085-0822 北海道釧路市春湖台1-7 Tel 0154-41-5809 <https://www.city.kushiro.lg.jp/museum/>





釧網本線 川湯—緑 1967-3-5



池北線 仙美里—足寄 1975-3-18

1975年ころの国鉄釧路鉄道管理局管内路線



釧網本線 川湯駅 1971-11



標津線 標茶—泉川 1969-6-17



根室本線 釧路—東釧路 1967-2



根室本線 釧路駅 1970年代



釧路機関区 1974-7-18



釧網本線にて酒井機関士 1971-7

●撮影者プロフィール

酒井 豊隆 (さかい とよたか)

1929(昭和4)年、北海道釧路市生まれ。戦時中、集団就職で国鉄新鶴見機関区(神奈川県)に就職。その後、民間企業を経て1952(昭和27)年に国鉄に再度就職し、釧路機関区に機関助手、機関士として勤務。国鉄分割民営化直前の1986(昭和61)年に退職。1954(昭和29)年頃から写真を撮り始め、全日本写真連盟や釧鉄写団に所属、1968(昭和43)年、職場の仲間と写真愛好会「SLクラブ」を結成し展覧会などを開催。元釧路市民展運営委員。撮影した鉄道写真は、釧路市立博物館と小樽市総合博物館で所蔵。

《関連行事》

講座「出発進行！鉄道を学ぼう・鉄道で学ぼう」

幸町公園に保存されているC58で、蒸気機関車が動くしくみを学びます。またJR根室本線の普通列車で音別駅まで往復し、車窓から鉄道や地域の歴史を学びます。

開催日：2020年9月6日(日) 9:15～13:30

集合：幸町公園(釧路市幸町12-1) 定員：15名(小学生は保護者同伴)

参加費：150円(資料費・保険料/別途、音別駅までの往復運賃1,940円[小学生半額]が必要です)

【申込が必要です】

参加希望者全員のお名前・連絡先を記して、ハガキ・ファクス(0154-42-6000)・博物館Webサイトからお申込み下さい。

受付：7/11(土)～8/15(土)(定員を超えた場合は抽選)

【好評展示中】

常設展示「釧路・根室の簡易軌道」

新着資料ミニ展示(9月27日(日)まで)

「太平洋石炭販売輸送臨港線」

いずれも常設展示室2階にて
(入館料が必要です)

